

地震等による安否確認や緊急連絡方法について

○平日の日中に大地震等が発生した場合（子どもたちが学校にいる）

※いずれのケースも児童の状況や学校の対応を緊急メール・ブログ等で保護者に連絡する。
機能しないときは貼り紙（校門，児童玄関）等の方法をとる。

①被害がほとんどなく停電していない → 下校時刻まで学校で過ごす

②被害が大きく、停電している場合 → メールなどで保護者に対応を連絡。
保護者が迎えに来るまで学校で過ごす。
（トイレ利用に限りがあるため早めの迎えを！）

③被害が大きくないが停電している場合 → メールなどで保護者に対応を連絡。
・学校で過ごす・待つ
・自分で帰る
※給食の有無の確認
※児童館担当者との連絡

被害が甚大な場合は学校が避難所となることもあります

○登下校の途中に地震等が発生し、大きな被害があった時

※いずれのケースも児童の状況や学校の対応を緊急メール・ブログ等で保護者に連絡する。
機能しないときは貼り紙（校門，児童玄関）等の方法をとる。

- ・子ども：まわりの様子確かめ、できるだけ広い場所で大人（先生や家族）が来るのを待つ。
（家庭でも子どもたちに教えてください。）
- ・保護者：通学路の状況を見ながら学校方向に向かい、子どもの待っている場所から判断して地域（家庭）に、もしくは学校に子どもたちを連れて行く。
- ・職員：担当地域に向かい、同様に子どもたちを地域（家庭）もしくは学校へ連れて行く。
- その後：家庭もしくは学校で待機し、状況による対応の指示に従う。
 - ・〇〇時まで登校してください。（メールなどで連絡。班長は登校方法を班員と確認）
 - ・休校となりました。子どもたちを迎えに来てください。（引き渡し）

○朝の登校前・夜間・休日に大地震等が発生した時（家にいる）

※停電、断水、崩壊等の被害のある場合、危険だと判断した場合は自宅待機を基本とします。

休校・遅れて登校・給食なしで下校 などの緊急連絡方法
※いずれのケースも児童の状況や学校の対応を緊急メール・ブログ等で連絡する。
機能しないときは貼り紙（校門，児童玄関）等の方法をとる。

停電もなく電話が通じる

メールやブログ配信（電話）

停電などで電話が通じない（通じにくい）

職員はできるだけ早く出勤し
A：メールやブログ配信
B：問い合わせに対応（来校者へ対応）
C：校門や児童玄関に貼り紙等を表示
D：地域を巡回し登校班長へ連絡

※情報を得た方は、同じ登校班の家庭に情報を伝える。

- 【お願い】 ●保護者の方は、災害の他、交通事故などで子どもがけが等をした際も、学校・担任へお知らせください。（「〇年〇〇が骨折し〇〇病院で治療中」等）
- メール配信システムが機能しない、長時間学校からの緊急連絡がない場合は、校門や児童玄関に貼り紙表示を確認ください。
 - メール配信システムも機能しないケース、家屋倒壊など大きな被害が出て連絡がとりにくい場合は、登校班ごとに連絡を取り合っ、どなたかが子どもたちの安否について確認し、学校のポストにメモを入れるなどして必ずお知らせください。
（「〇〇班〇人全員無事」「〇〇班〇年〇〇のみ安否確認できず」等）
 - 児童引き渡しのケースも考えられます。引き取り者について話し合っておいてください。